

## 【1.体制】

2023年4月時点 医事室員2名兼務、システム室専従1名の3名体制だったが、年度途中の退職・部署異動により、3月末時点 医事室員2名兼務の2名体制となっている。情報システムの「障害・保守」「企画・購入」「規程整備」「セキュリティ対策」などを担っている。

## 【2.取組内容と実績】

部署の行動計画と実績を4つの視点で報告する。

## 1. 業務プロセスの視点

## (1) システム利用停止に関する対策整備

サーバー障害やサイバー攻撃への対策として、以下を新規に実施した。

- ①ウィルス対策ソフトの導入（インターネット環境、電子カルテ環境）
- ②サイバー保険の加入（済生会本部一括契約）
- ③システム障害時対応マニュアルの一部見直し、紙運用の訓練は次年度に持ち越し  
7月にサーバー内のデータベース障害により、電子カルテが2時間停止（13～15時）  
3月にメーカーパッチ適用により、原因となった不具合を解消した。

## (2) IT活用を推進する体制の構築

ITを積極的に活用する組織文化の醸成のために、以下を実施した。

- ①各部署のITリーダーが参加する情報システム運営委員会の定期開催（2ヵ月1回）  
時間確保が難しく、参加者数が少ない状況である。
- ②各種ITツールの活用シーンの拡大  
・ダイナミックテンプレート作成3事例（嚙下評価、FLS、大腸検査）
- ③システムレビュー対応  
必要資料を済生会本部に提出し、「指摘事項」1件の結果であった（11月）。  
アプリケーション変更案件において、利用部門からの起案および利用部門責任者の口頭承認はなされていたものの、証跡として残されていないケースが検出。  
依頼部門からの依頼および依頼に対する利用部門責任者の承認証跡を記録として残しておくことが望まれる。

## 2. 財務の視点

## (1) 優先度が高いシステムを確実に計画通りに実施する

費用面も考慮した最適な構成を関係部署・ベンダーと検討し、導入・更新のサポートを行った。

- ・訪問看護システム導入（10月）
- ・ウィルス対策ソフト導入（10月）
- ・インターネットパソコン更新（12月）
- ・調剤支援システム更新（3月）
- ・複合機更新（3月）
- ・電子カルテパソコン追加購入（3月） など

## (2) システム保守の適正化

- ①保守契約の更新手続き時の運用ルールの整備はできていない。
- ②済生会本部から情報提供があった「システム保守費用適正化コンサルタント」の株式会社システムリサーチと契約を締結し、1年かけてベンダーと保守内容の見直しや保守費用の交渉を行った。初年度は一時的にコンサル費用が発生するが、年間約180万円の削減（▲8.7%）につなげることができた。

## 3. 顧客の視点

顧客（患者、職員）の要望を汲み取り、障害対応や最適なITツールの提案・作成を行った。

## (1) オンライン診療の取り組み

- ①熊本病院とのPERIO-DX 1件（12月） D to P with D
- ②訪問看護利用者のオンライン診療2件（2月） D to P with N

## (2) 電子カルテマイナーバージョンアップへの対応

項目数・内容が多岐に渡るため、各部門にて必要性や設定値について精査を行ってもらった。病院・ベンダーの対応に時間を要し、次年度にリリース予定とする。

## 4. 学習と成長の視点

## (1) 情報セキュリティに関する教育の実施

e-ラーニングにて開催（5月）主にサイバー攻撃に関する脅威を発信。125人受講。

## (2) 学習環境の定着化（場所を問わずスキマ時間に学習できる環境）

CandyLink、院内YouTube、LINEWORKSの組合せによる、オンラインでの学習環境の整備ができ、定着化することができた。研修動画データの編集作業の機会が増え、サポートを随時行っている。

## (3) 情報システム室の体制強化

年度途中で退職・部署異動があり、属人化した業務を減らすための対応が必要である。OJTやマニュアル作成を通じて、室員間でカバーできる業務を増やしていく。

## (4) 済生会熊本支部システム室・担当者間の情報共有

2ヵ月1回の頻度で、済生会熊本病院 情報システム室、済生会熊本福祉センター システム担当者と、Webミーティングを行い、課題や近況などの情報共有を行っている。

今後も継続して行うことで、支部全体でレベルアップを図っていきたい。

## 【3.今後の課題】

- ・セキュリティ対策の強化（ウィルス対策の設定完了）
- ・システムダウン時の対応訓練、BCP整備
- ・外来周辺のシステム導入検討（再来受付機、診察順番案内表示、会計表示システム）
- ・次期電子カルテ更新に向けた情報収集
- ・DXを推進するための組織強化（システム室及び各部署ITリーダーの育成）